

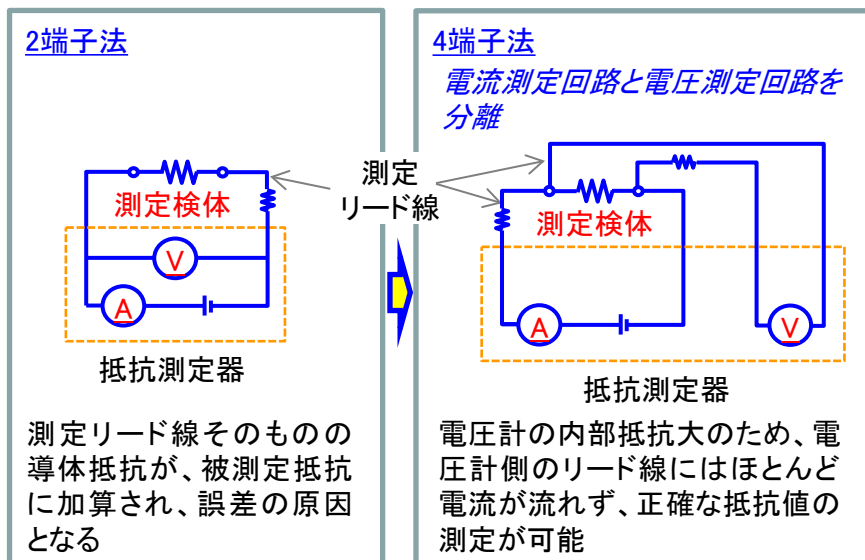
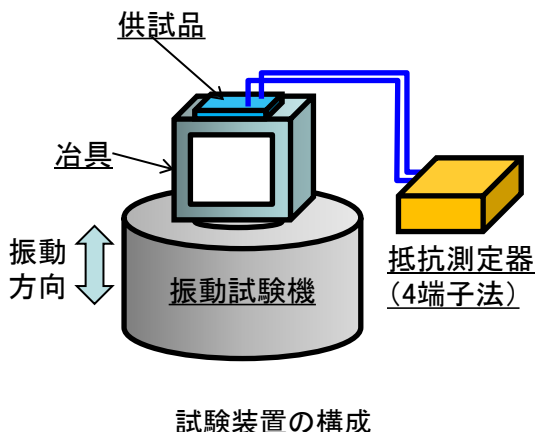


# 電気抵抗の精密計測を伴う複合環境振動試験

振動試験中の自動車ハーネス部品等の電気抵抗値を精度良く連続計測します。

## 抵抗値測定の概要

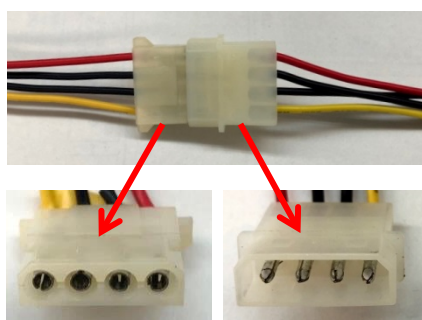
電気抵抗値の低い部品に対し、4端子法を採用して抵抗値計測を行うことにより、振動試験中の電気抵抗値を高い精度で連続計測できます。



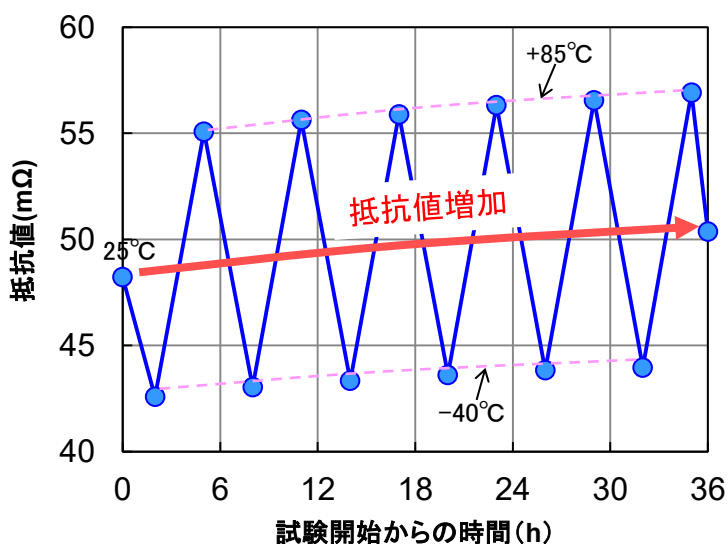
## 試験例

コネクタの振動実験を-40~85℃、85%RHの温度・湿度サイクル下で実施した例を示します。

- ・ 加速度: 40m/s<sup>2</sup>
- ・ 周波数: 20~2,000Hz, 対数掃引
- ・ 試験時間: 36h (温湿度サイクル: 6時間×6回)
- ・ 供試品: 4ピンコネクタ(Sn メッキ品)



雌コネクタ 雄コネクタ  
振動試験後の供試品の外観



4端子法による電気抵抗値の測定結果の例

※ 当社では、振動試験における多ch同時計測(加速度、ひずみ、温度、電圧等を高速サンプリングで同期計測)、なども承っておりますのでお気軽にお問い合わせください。



JFE テクノリサーチ 株式会社

<https://www.jfe-tec.co.jp>

0120-643-777

Copyright ©2020 JFE Techno-Research Corporation. All Rights Reserved.  
本資料の無断複製・転載・webサイトへのアップロード等はおやめ下さい。